

作物名; いちご	高設ベンチ栽培(岐阜県方式)
作業名; 出荷調製/パック詰め、箱詰め	服装; 作業服、帽子

### 作業準備



①収穫したいちごの入った収穫用トレイを予冷庫から作業台へ並べる

### パックに詰める



②パックにいちごを詰めていく。

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちごは柔らかいので何度も触って詰めない</li> <li>・規格別に詰めていく。1パックが250g以上になるよう秤で量る。規格と並べ方を覚える必要がある</li> <li>・秤は、アナログの針のついたものとし、規定の範囲にマークをつけておく</li> <li>・6g以下のいちごや色味過ぎのいちご、傷のあるいちごは廃棄する(廃棄するいちごを入れる容器を用意し指示する)</li> <li>・いちごの重さが6g以下かどうか迷った時は、秤で量り確認する</li> <li>・色味過ぎの程度を明確に指示する必要がある</li> </ul>
----------------	---

### ラップ貼り



③パックにラップをする

- ・ラップ用のシールを一定の長さにカットする。
- ・パックの中央がラップ用シールの中央になるようにかぶせる。
- ・両端を優しく押さえ、パックの両側面(長辺)にラップを貼り付ける



障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラップについている目印で切る</li> <li>・ラップを貼る時、いちごをつぶさないように気をつける</li> </ul>
----------------	---

### シール貼り



④生産者シールをパックの所定の位置に貼る

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シールを貼る時の押し加減が難しい</li> <li>・強いといちごを傷つけるので気をつけるよう指示するが、程度が分かりづらい</li> </ul>
----------------	---

### 箱詰め



⑤箱に同じサイズのいちごパック(4パック)を入れる

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じサイズのパックに同じマークをつけておく、又は同じサイズのパックの置く場所を決めておく</li> </ul>
----------------	---

## 規格サイズに○印スタンプを押す



⑥箱の横(短い方)に生産者名とサイズへ○印を押す

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・間違わないように、確認しながらスタンプを押す

## 検品 I



⑦検品:同じサイズのいちごが詰めてあるか、シールが貼ってあるか等の確認をする

⑧サイズの同じ箱5段を一括りとし、段ボールの蓋をする

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・検品は職員の役割とする

・検品後、ルールに沿って5段の箱の上に段ボールの蓋をする

## 検品 II



⑨同じサイズの箱が5段揃わなければ、他のサイズの箱とあわせて5段にし、段ボールの蓋を裏向きにして蓋をする

※地域により、出荷形態は変わるので地域のルールにあわせること

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・検品は職員の役割とする

・検品後、ルールに沿って5段の箱の上に段ボールの蓋をする

## 予冷庫に保管



⑩出荷時間まで、予冷庫に保管する

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・運搬する時には、5段一緒に運ぶこと

## 集荷場へ出荷



⑪出荷のため予冷庫からいちごの箱をトラックに積み込む

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・積み込みの時は、5段一緒に積み込むこと

・集荷場へ持って行く